

シアターキノ × Seesaw Books クロストーク

まちの文化は 「場」づくりから

1992年7月4日に「日本一小さな映画館」として誕生した札幌市中央区のシアターキノが2022年の夏、30周年を迎えます。そのキノを「憧れの存在」としているのが、2021年10月30日、北18条に誕生した新刊書店「Seesaw Books」です。両者の共通点はどちらも「市民に必要とされて誕生した場」であること。札幌というまちの文化を紡いでいます。

トークテーマ

- ・市民が支えたシアターキノ 30 周年
- ・元スタッフ“綾ちゃん”が語るキノの思い出
- ・誰も見たことがない映画本への挑戦
- ・「キノが目標！」 Seesaw Books 誕生
- ・本屋さん、映画館に集まる人々

ゲスト



田中 綾(たなか・あや)

北海学園大学教授/三浦綾子記念文学館館長/歌人
2008年に北海学園大学大学院文学研究科で博士号(文学)を取得、同年から同大学人文学部に勤務。
2017年から三浦綾子記念文学館館長。専門は日本近現代文学。近著に「書棚から歌を 2015-2020」。



中島 洋(なかじま・よう)

北大在学中より「駅裏八号倉庫」やさっぽろ映画祭など札幌の場づくりを展開。1992年ミニシアター「シアターキノ」を設立。子どもワークショップや札幌国際短編映画祭にも関わる。監督として現在制作中の映画「Wakka」は来年全国公開予定。



神 輝哉(じん・てるや)

出版社の営業職を経て2014年北18条西4丁目にゲストハウス「UNTAPPED HOSTEL」を開業。
2021年「書店+シェルター」構想のクラウドファンディングを達成率488%で終了。同年10月30日に新刊書店「Seesaw Books」を開店。

進行

佐藤 優子(さとう・ゆうこ)

ライター。シアターキノ30周年記念本の編集を担当。2010年からWEBマガジン「北海道書店ナビ」連載。「Seesaw Books」樹オーナー。近著に「本のフルコース」。札幌市図書館協議会委員。

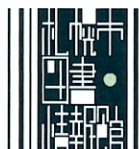
日時 2022年6月29日(水) 18:30-20:00 (開場18:00)

会場 札幌市図書・情報館1階サロン 札幌市中央区北1条西1丁目 札幌市民交流プラザ内

定員 50名(事前申込不要) ※座席は限りがありますので、満席になりましたら立ち見となります。
※会場の収容力、および感染症拡大防止のため、入場をお断りすることもございます。
※感染症拡大防止のため、ご来場時に連絡先をご登録いただきます。

受講料 無料 (感染者が発生した場合に、保健所等へ連絡先を提供する目的以外には使用しません。)

主催/札幌市図書・情報館



札幌市図書・情報館

連絡先/札幌市教育委員会中央図書館利用サービス課図書・情報館
〒060-0001 札幌市中央区北1条西1丁目 札幌市民交流プラザ2階
TEL.011-208-1113 FAX.011-208-1110
HP : <https://www.sapporo-community-plaza.jp/library.html>



感染対策を実施します

- ・換気が十分おこなわれた会場です。
- ・講師はマスクまたはマウスシールドを着用します。
- ・参加者の方もマスク着用をお願いします。



さっぽろ市
02-503-22-443
R4-2-350